

# 岩田 彰一郎

**新**

型インフルエンザをご存知ですか？  
近頃ずいぶん報道で見かけるようになりまし。数年来、行政や社会にその対策強化の重要性、緊急性を訴え続けてきた真摯な研究者、関係者のためまぬご努力と、寝食を忘れるほどの情熱、使命感が世の中を動かして始めています。肝炎訴訟、拉致問題も同様ですが、われわれ経営者も早い段階で理性的に物事の本質をつかみ、主体的に行動を起こしていくことが重要です。経営にとつての危機は数限りなく降り注いでできます。何に注目し、何を優先し、社会と従業員、さまざまなステークホルダーの安全と利益をどう守っていくかは、経営者の責務です。

新型インフルエンザの世界的大流行（パンデミック）は、ifではなくwhenの問題です。いま世界中で出現が恐れられている新型インフルエンザは、従来のものとはまったく違うタイプ（H5N1型）で、その猛威によって世界中に拡大し大流行するといわれています。

■準備が必要な理由

①致死率が高い強毒性 このウイルスに免疫を持つ人はほとんどなく、ウイルスに曝された人はかなりの確率（100%？）で



副代表幹事  
社会的責任経営委員会 委員長  
アスクール  
取締役社長兼CEO

## 備えあれば憂いなし

②伝播力が非常に強い 飛沫感染、ウイルスへの接触で、多くの人が同時期にかかり急速に拡散する。

③社会的機能がマヒする 同時多発的な罹患者の発生で社会的機能を動かす働き手が失われ、さらに大きな二次的混乱を引き起こす恐れがある。自然災害と違い他国からの支援も望めない状況が想定されるため、公共機関や医療機関、企業や自治体などの機能が停止しないための対策とともに、国民一人ひとりの自衛策が必要である。

④ワクチンはすぐにはできない 本物のパンデミックワクチンは発生後直ちに製造される一方で、プレパンデミック（大流行前）ワクチンと呼ばれる予防ワクチンが各国で備蓄されている。日本では国内ワクチンを今年秋から1000万人分増産し、2009年3月末で3000万人分を備蓄する予定だが、これは全国民のわずか4分の1に過ぎない。

今の日本でパンデミック状況に陥ると、人命だけでなく経済的にも大変な被害をもたらします。われわれの無知が、行政の危機感の希薄さが大きな被害を生みます。新型インフルエンザに対する正しい知識と十分な準備で被害は最小に食い止められます。われわれはこのことを人災にしてはなりません。

\*参考文献「H5N1型ウイルス襲来―新型インフルエンザから家族を守れ！」（岡田晴恵著／角川SSC新書）

## Contents

001 ● 巻頭言 岩田彰一郎	備えあれば憂いなし
002 ● 特集	2008年度（第23回）経済同友会夏季セミナー
014 ● リレートーク 若月三喜雄	金融技術と人間
015 ● 委員長インタビュー	社会的責任経営委員会（2007年度） 高橋 温 地方行財政改革委員会（2007年度） 大橋洋治
017 ● 経済同友会最前線	社会的責任経営委員会提言、地方行財政改革委員会提言 ほか
023 ● 小特集	公務員制度改革に関する緊急シンポジウム
026 ● コペンハーゲン通信	デンマークの教育事情（上）
027 ● 同友会スケッチ	2008年7月の記録と9月の予定
028 ● 新入会員紹介	2008年7月25日現在の入退会者
030 ● 私の思い出写真館 歌田勝弘	ミュージカル「キャッツ」25周年